

112 大正時代 大戦景気

<空前の大戦景気>

日露戦争以降の危機的な状態を一挙に吹き飛ばしました！

あ 英仏露の連合国に 軍需品 輸出

い 好景気 アメリカには高級品の 生糸

当初アメリカは第一次世界大戦には中立で参戦せず、戦争国に物資を売り込んで好景気にわいていました。

う 欧州列強が後退した アジアに 綿織物

日本は 債務国 から 債権国 に躍進！

抱える債務 11 億円 → 27 億円以上の債権国に

日本は 農業国 から 工業国 に転換！

企業数が 1.5 倍、企業の資本金総額は 2 倍以上に増えた

・ 工業生産額 が農業生産額を追い越した

・ 工業生産額のうち重工業が 30% に

・ 工業労働者数 が 1.5 倍に増加した

・ 男性労働者数が女性労働者数に迫る。

・ 都市で会社員、銀行員、公務員などの

俸給生活者 (サラリーマン)が増加

・ 都市で 電話交換手、タイピスト などの

の仕事を持つ女性 職業婦人 も増加

→ 都市中産階級 の成立

・ 日本初の高層ビル 丸の内ビルディング

・ 鉄道沿線に和洋折衷の 文化住宅



・ 私鉄の経営する ターミナルデパート

駅と一体型の百貨店は日本発祥なんです。なお、百貨店は大正時代ですが、スーパーマーケットは戦後に登場します。

・ 鉄道集客のため阪急電鉄が 宝塚歌劇団

・ まだ農業人口は工業人口の倍以上。

造船業、海運業が空前の好況

→ 船成金 が続々と生まれた。内田汽船
神戸の小さな社の 鈴木商店 が

三井・三菱をえる規模に急成長！SZK

・ 大正 世界3位の海運国 に躍進！

・重化学工業分野も発展

・ 八幡製鉄所の拡張

・ 満鉄の鞍山製鉄所 設立

・ ドイツからの輸入が途絶えたため

化学工業が勃興 した

1915 東京・猪苗代間の送電 に成功

→ 電力の農村部への普及

工業原動力が蒸気力から電力に転換

村に電灯が灯りました！



軽工業分野(繊維工業)も好況

中国への綿布輸出が活況

→ 直接中国に日本資本で繊維工場を設立

… 在華紡

労働者のくらし

物価高騰に賃金上昇が追い付かない！

大戦景気の影には、物価の高騰に苦しむ民衆が存在しました。一方で、成金が生まれ、資本家がうるおいました。

工業労働人口の増加、米の生産停滞

海外米の輸入禁止策

→ とくに 米価高騰

納税資格制限がある制限選挙だから、米価高騰するのです。寄生地主たちの意向が国政に反映されるからです。

1916 吉野作造 民本主義 を提唱

総合雑誌『中央公論』に民本主義を提唱した論文「憲政の本義を説いてその有終の美をなすの途を論ず」を発表しました。民主主義は国民主権という意味もあるので、天皇主権の明治憲法と矛盾しないように、デモクラシーを君主主義と訳して、天皇主権だけれども、国民の意向を重視した政治（＝普通選挙、政党政治）を行うべきだとしました。

1917 河上肇 貧乏物語

京都帝国大学経済学部教授で、昭和時代に入ってからマルクスの『資本論』を紹介する人です。京大の教え子には藤原北家の五撰家筆頭の近衛家当主の近衛文麿がいます。

112 大正時代 大戦景気

< 第二次 寺内 内閣 >

・イギリスの求めで 地中海 に駆逐艦派遣
イギリス輸送船を護衛。ドイツ軍潜水艦を見つけると果敢に攻撃、追い払う。日本駆逐艦も59名の犠牲を出した。

・同じ連合国のアメリカと対米協調

・大戦中に 石井ランシング協定

日本特使石井菊次郎と国務長官ランシングの間の協定。
日本はアメリカの門戸開放の原則を守ると誓う。
アメリカは日本の防衛上大切な満蒙の特殊権益を認める。

・対ロシア(日露戦争以来仲よし)

→ロシア帝国消滅 ロシア革命

英米仏の連合軍は、ソ連政権をつぶすべく干渉戦争を仕掛けました。そして日本にも共同出兵を求めました。

・寺内、シベリア出兵 を決定

名目はシベリアのチェコスロバキア兵の救出です。

閥族打破、憲政擁護 の大衆運動勃発

大衆指導者… 尾崎行雄、犬養毅

→桂内閣、議会を包囲され53日で倒された。

(大正政変)

明治時代は…新聞紙条例…知識人だけ取り締まればOK
大正時代は…大正政変…不特定多数の大衆の存在感が大

英領ビルマ

< 第一次 山本権兵衛 内閣 >

・薩摩出身の海軍軍人が組閣。

・立憲政友会の政党员が多数入閣。

・文官任用令 を再改正

政党员も高級官僚になれるように戻しました。



・軍部大臣現役武官制 現役規定削除

現役規定削除であって、廃止ではありません。現役を退いた予備・後備の大将・中將もなれるようにしただけです。ただ現役を退けば、軍人も政党员になれます。

・シーメンス事件 で引責辞任。大衆激昂。

独シーメンス社から海軍省官僚がワイロ
英ウィッカース社からも戦艦「金剛」発注のワイロ
シーメンス・ウィッカース事件ともいいます。

< 第二次 大隈 内閣 >

大衆の怒りをおさめるため、元老山県は国民的人気のある大隈を次の首相に選びました。

・立憲同志会 を与党とする政党内閣。

・大隈は高齢、加藤高明が主導する内閣。

・1914年 第一次世界大戦 勃発

・加藤、日英同盟を理由に対ドイツ宣戦。

→ドイツ領 山東半島 占領。

ドイツ領 南洋諸島 占領。

・明治天皇崩御、大正 に改元

・美濃部達吉 『憲法講話』

→ 天皇機関説 で政党内閣を理論武装
(議会の信任を失った内閣は総辞職すべき)

・桂太郎も政党 立憲同志会 創設に動く

→山県、そんな桂を嫌って内大臣兼侍従長に

・二個師団増設 問題

立憲政友会、財政難を理由に拒絶

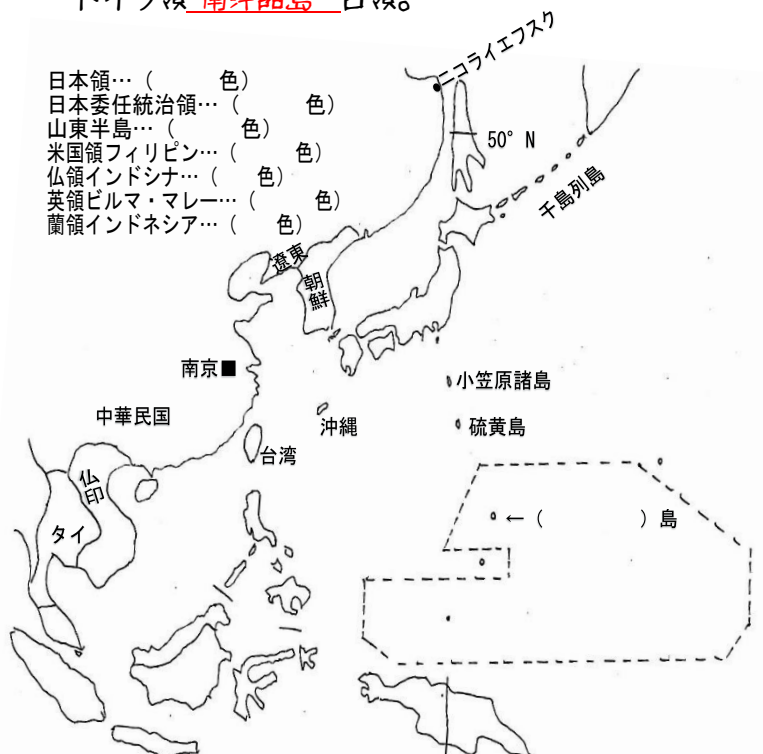
上原勇作 陸軍大臣の単独辞任

→ 軍部大臣現役武官制 により
内閣倒れる(陸軍が陸相の後任出さず)

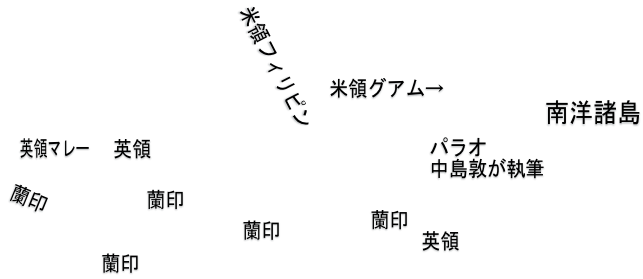
< 第三次 桂 内閣 >

内大臣兼侍従長の桂が組閣

宮中と府中を乱すとの大衆の怒り招く



112 大正時代 大戦景気



加藤外相

対華二十一箇条要求

第1号～第5号を **袁世凱** 政権に要求

欧米は世界大戦で中国にかまう余裕ない

→第5号を除き受諾させた。

(中国、**国恥記念日** を制定)

元老山県有朋「訳のわからぬ無用の過剰まで羅列して
請求したるは大失態。日本の名誉を傷つけた」

空前の

大戦景気

→課題だった **二個師団増設** 衆院通過

第12回衆議院総選挙で買収事件発覚

→大隈内閣総辞職、元老会議で寺内組閣。

大戦景気

輸出先	輸出品	備考
欧州	軍需品	船舶も売れる
アメリカ	生糸	戦場にならず好景気
中国市場	綿布	市場から欧州製消えた

懸案の **二個師団増設** も議会通過、実現



二個師団増設が衆議院を通過して実現にこぎつけた。シーメンス事件のことも国民はいつの間にか忘れた。つまり、大隈はもう用済みということよ。